

この度、本学類より、福島大学ブックレット・シリーズ最終巻が刊行されました。ネット書店や最寄りの書店を通じて、ぜひ、ご購入ください。

金井光生『フクシマで“日本国憲法〈前文〉”を読む—家族で語ろう憲法のこと（福島大学ブックレット No. 10）』（公人の友社）定価：本体 1,000 円 ISBN：9784875556350

まもなく 3・11 大震災から三年を迎える現在、いまだに多くの方々が被災・被曝で苦しんでいるにもかかわらず、全国的には確実に風化し忘却されつつある中、原発再稼働と保守的改憲へと突き進む安倍政権。いま私たち主権者が行うべきことは、東日本大震災と福島原発事故の観点から、もう一度きちんと日本国憲法を読んで、改憲についてしっかり考えることでしょう。

特に、地震・津波・原発事故・風評被害という四重苦に見舞われてしまったフクシマの私たちにこそ、平和的生存権を〈前文〉で掲げる現行の日本国憲法をよく知り、後世に語り継いでいく使命があるのではないのでしょうか。

本書は、改憲/護憲を主張する前に当然に知っておかなければならない「立憲主義」などの基本概念と日本国憲法前文の内容を、フクシマという視点から、高校生程度から読めるように解説しました。みなさんと、憲法について学び、語り合いましょう！

ただでさえ、放射性物質をばら撒いて後代にまで被害を及ぼしてしまっているのですから、これ以上、子孫に顔向けできない「想定外の事態」を招かないように。

—「われらとわれらの子孫のために」（日本国憲法前文第一段）

